



Matsubara-syo Chronicle

VOL. 2, R7.9.29

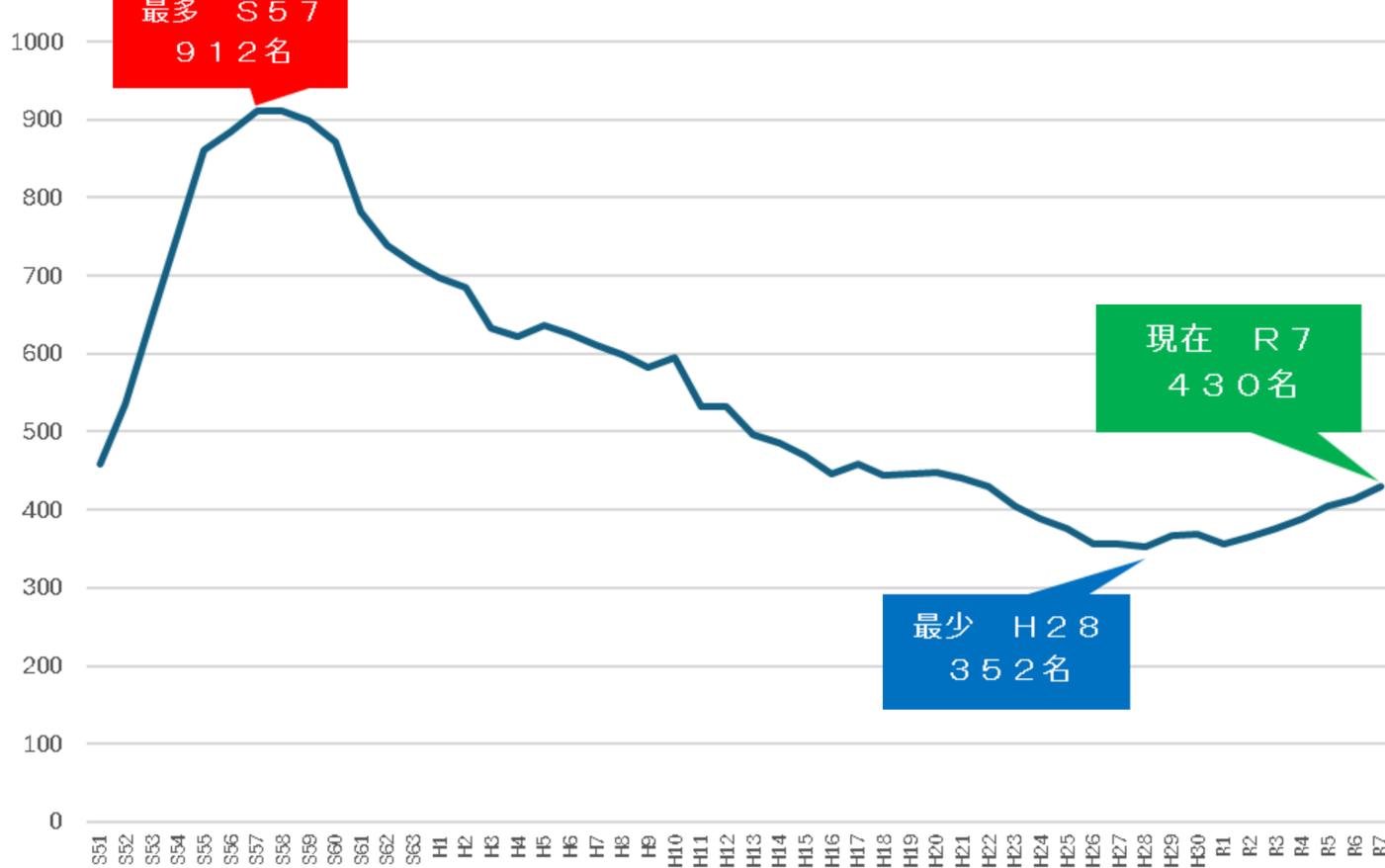


50TH ANNIVERSARY



児童数と学級数の変遷 令和の回復基調

松原小の児童数 S51~R7

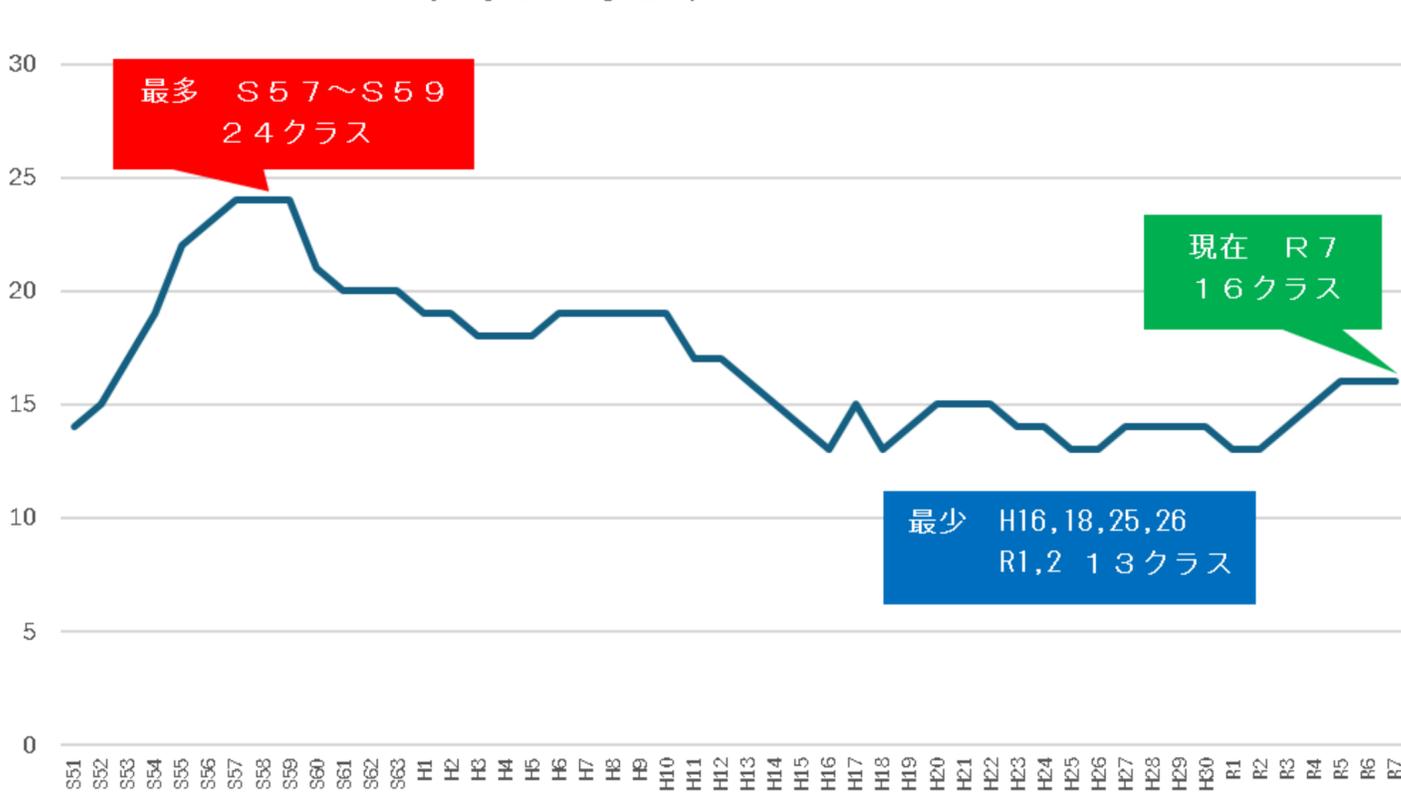


初年度の児童数は、458名。そこから6年間で、児童数が2倍になり一気にピークを迎えます。

ただ、平成に入ると児童数は著しく減少し、常に右肩下がりとなります。

令和に入ってから児童数が回復基調となり、今後数年間は児童数の増加が見込まれています。

松原小の学級数 S51~R7



初年度の学級数は、14クラス。ピーク時にはひと学年平均4クラスとなり、S58とS59には松原小の歴史上たった2回だけの、「ひと学年5クラス」が出現します。

今後は全17~18クラスまで回復が予想されます。

第2次ベビーブーム（S46~S49生）世代が小学生になった時期が、やはり児童数も最多となっていました。今の倍以上の子ども達がよく校舎に入り切ったなあ、と驚きを覚えます。